

函体の構造目地部等の補修工事について

東京外かく環状道路 中央JCT北側ランプにおいて、地下に構築した函体で漏水があることを確認したため、函体の構造目地部等の補修工事を行います。

関東地方整備局が発注した東京外環中央JCT北側ランプ工事および同ランプ(その2)工事において、竣工後に復水※1を行ったところ、地下に構築した函体の構造目地部(函体同士の接続部)等から漏水があることを確認しました。このため、3月22日、契約書44条及び56条に基づき、施工者に対し、原因究明等の調査※2を依頼しました。

これを受け、7月8日、施工者から調査結果報告書の提出があり、この漏水について以下の見解が示されました。

- ・函体の外周に施工した防水工(塗膜防水)の一部が損傷していると考えられ、施工期間に豪雨による急激な水位変動が生じ、曲線部が多い施工区間において、当初の想定と異なる方向の応力が発生していたことが原因と考えられる。

今後、施工者による補修工事を行います。

なお、現在発生している漏水については、構造物の安全性を損なうものではないことを確認しています。

※1 地下水位低下工法実施前の地下水位に戻すこと

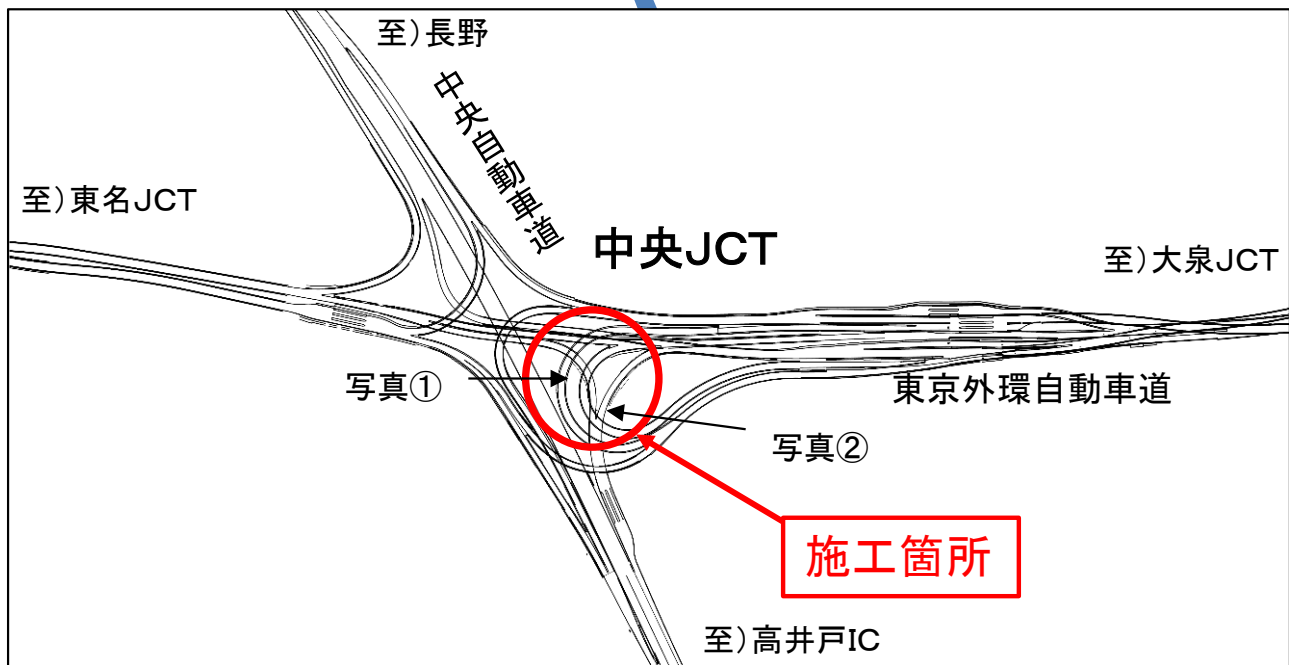
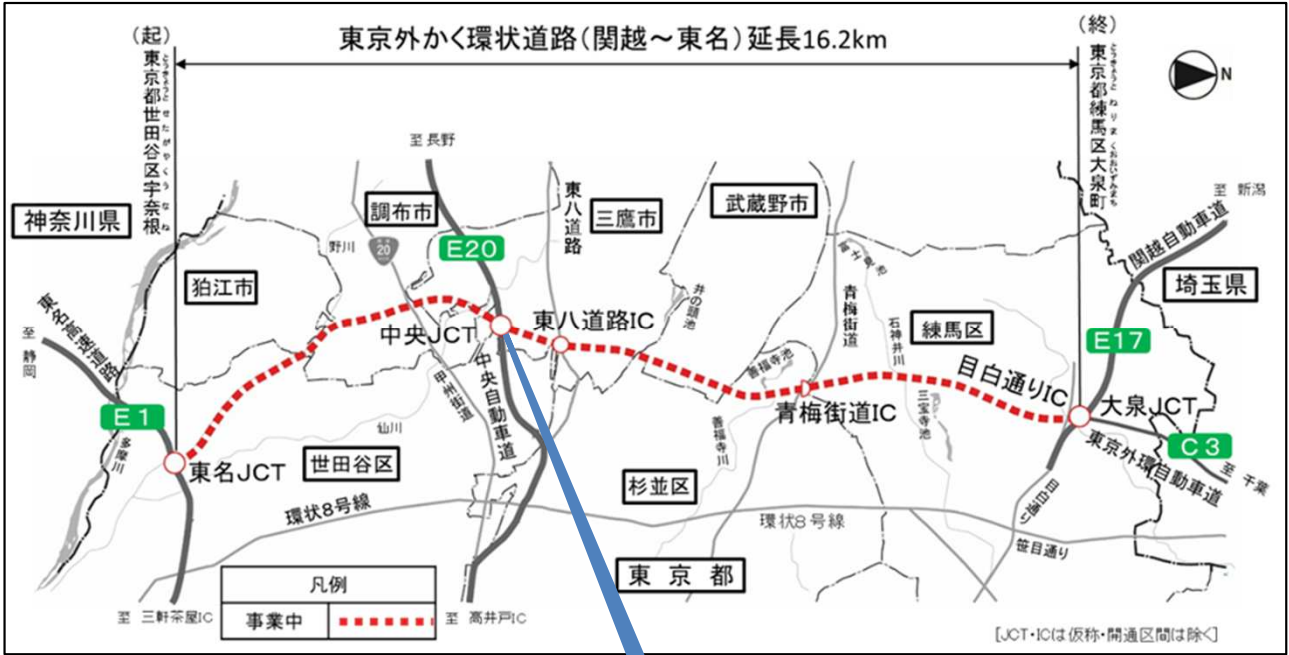
※2 調査の過程で、地下水流動保全工の通水井戸を開栓するためのバルブ内に流動化処理土が流入・固結していたことが判明したことから、当該処理土を除去しています。

○工事件名:東京外環中央JCT北側ランプ工事 (H27.11.21~R2.3.31)

(工 期)東京外環中央JCT北側ランプ(その2)工事 (R2.4.21~R4.3.25)

○受注者:東京外環中央JCT北側ランプ工事鹿島・竹中土木特定建設工事共同企業体

○補修場所:東京外かく環状道路 中央JCT北側



■漏水状況写真

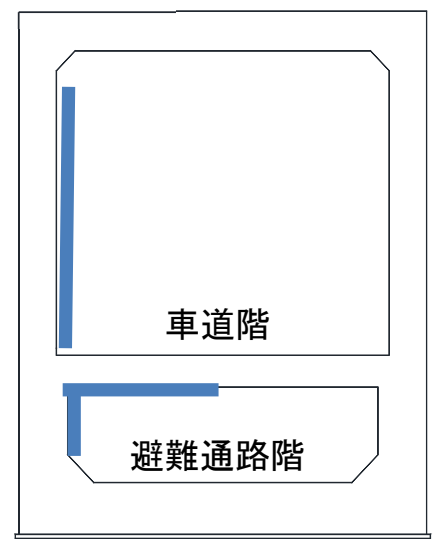


写真①:車道階 側壁部



写真②:避難通路階 側壁部

■断面図



— :漏水している箇所